

**2021年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)**

2020年12月25日

上場会社名 株式会社TAKARA & COMPANY 上場取引所 東  
 コード番号 7921 URL <https://www.takara-company.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堆 誠一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経理 (氏名) 加島 英一 (TEL) 03-3971-3260  
 部長兼情報企画部担当  
 四半期報告書提出予定日 2021年1月12日 配当支払開始予定日 2021年1月25日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

**1. 2021年5月期第2四半期の連結業績(2020年6月1日~2020年11月30日)**
**(1) 連結経営成績(累計)**

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第2四半期	12,801	21.3	1,566	10.6	1,677	15.6	872	△7.1
2020年5月期第2四半期	10,554	8.9	1,415	10.2	1,451	6.9	939	3.0

(注) 包括利益 2021年5月期第2四半期 1,271百万円(17.7%) 2020年5月期第2四半期 1,080百万円(22.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第2四半期	72.06	—
2020年5月期第2四半期	84.03	—

**(2) 連結財政状態**

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年5月期第2四半期	29,573	21,587	71.1
2020年5月期	26,450	16,582	60.8

(参考) 自己資本 2021年5月期第2四半期 21,017百万円 2020年5月期 16,083百万円

(注) 2021年5月期第1四半期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2020年5月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。なお、詳細につきましては、添付資料14ページ(企業結合等関係)をご参照下さい。

**2. 配当の状況**

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期	—	27.00	—	27.00	54.00
2021年5月期	—	27.00	—	—	—
2021年5月期(予想)	—	—	—	27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

**3. 2021年5月期の連結業績予想(2020年6月1日~2021年5月31日)**

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,500	38.6	2,500	11.2	2,500	5.8	1,600	2.9	132.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年5月期2Q	13,153,293株	2020年5月期	12,936,793株
2021年5月期2Q	44,893株	2020年5月期	1,744,796株
2021年5月期2Q	12,114,117株	2020年5月期2Q	11,184,661株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、2021年1月15日(金)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容(音声)については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	13
(企業結合等関係)	14
(追加情報)	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然企業収益や雇用環境の悪化など厳しい状況は続くものの、さまざまな感染対策や政策対応から個人消費や生産活動は持ち直しの動きを見せました。

しかし、その後も続く感染の波によって移動やイベント開催等における制限の緩和は繰り返し見直しを余儀なくされるなど、新型コロナウイルス感染症の経済へ及ぼす影響は引き続き不透明な状況となっております。

こうした状況のもと、当社グループのディスクロージャー関連事業に関係が深い国内株式市場においては、新型コロナウイルス感染症へのさまざまな感染対策や政策対応、ワクチン開発への期待などを要因に堅調な動きを見せ、日経平均株価は期初の21,000円台から26,000円を超える水準へ推移しました。

通訳・翻訳事業に関係が深い国内の会議、イベント開催状況においては、厳しい制限があるもののビジネスでの人の往来や感染対策を講じたうえでの実施、再開が見られましたが、引き続き大規模イベントは延期や人数制限、規模の縮小などが相次ぐ状況となっております。

このような事業環境において、当社グループは法定開示書類作成支援ツール「X-Smart. シリーズ」の高度化と導入社数増加および、金融商品取引法に基づく有価証券報告書などEDINET提出書類の電子的雛型である「EDINETタクソノミ」設定範囲拡大への対応に注力してまいりました。また、コーポレートガバナンス・コード適用に伴い積極性を増すステークホルダーとの対話や非財務情報開示の充実化への需要に対する製品やサービスの提供、「ネット」で招集をはじめとする株主総会プロセスの電子化への対応にも取り組んでまいりました。

さらに、情報開示のグローバル化の進展に伴い今後一層ニーズが高まると予想される通訳・翻訳事業では、コロナ禍でも高付加価値な多言語サポートサービスを効率的に展開するため、グループ内通訳・翻訳業務関連会社間の協業体制を強化すると共に、「同時通訳」のために開発された遠隔同時通訳プラットフォーム“interpretify”や高精度のAI翻訳エンジンを搭載した安全な自動翻訳システム“T-tact AN-ZIN”などのクラウドベース型商品の拡販を進めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は12,801百万円（前年同四半期比2,246百万円増、同21.3%増）となりました。利益面については、営業利益は1,566百万円（同150百万円増、同10.6%増）、経常利益は1,677百万円（同225百万円増、同15.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は872百万円（同66百万円減、同7.1%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当社グループでは、前連結会計年度末より、従来の「ディスクロージャー関連事業」の単一セグメントから「ディスクロージャー関連事業」および「通訳・翻訳事業」の2区分に変更しております。

セグメントの業績数値は、セグメント間の内部売上高または振替高を相殺消去し記載しております。また、以下の前年同四半期比較につきましては、前第2四半期連結累計期間の数値を当第2四半期連結累計期間と同様の区分に変更して比較しております。

#### (ディスクロージャー関連事業)

当セグメントにおきましては、新型コロナウイルス感染症の影響で、5月に売上を見込んでいた株主総会招集通知および関連文書の翻訳の売上が6月にずれ込んだことや、決算・開示に係る支援等のコンサルティングの売上が増加したことにより、売上高は10,373百万円（同587百万円増、同6.0%増）、セグメント利益は1,697百万円（同370百万円増、同27.9%増）となりました。

従来と同様に「ディスクロージャー関連事業」を製品区分別にご説明いたしますと、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、「会社法関連製品」と「IR関連製品」の一部製品について売上区分を見直しており、前第2四半期連結累計期間の数値を変更後の売上区分に組み替えて比較しております。

#### ・金融商品取引法関連製品

決算・開示に係る支援等のコンサルティングが増加したことにより、売上高は4,062百万円（同175百万円増、同4.5%増）となりました。

・会社法関連製品

新型コロナウイルス感染症の影響で、5月に売上を見込んでいた株主総会招集通知および関連文書の翻訳の売上が6月にずれ込んだことにより、売上高は2,057百万円(同713百万円増、同53.1%増)となりました。

・IR関連製品

事業報告書等の売上が減少したことにより、売上高は2,887百万円(同219百万円減、同7.1%減)となりました。

・その他製品

株主優待関連の売上が減少したことにより、売上高は1,366百万円(同82百万円減、同5.7%減)となりました。

なお、当社グループの売上高はお得意様の決算期が3月に集中していることに伴い季節的変動があり、第1四半期および第4四半期の売上高が他の四半期に比べて多くなる傾向があります。

(通訳・翻訳事業)

当セグメントにおきましては、前連結会計年度末に株式会社サイマル・インターナショナル及びその子会社を連結の範囲に含めたことにより、売上高は2,427百万円(同1,659百万円増、同216.0%増)となりました。

当セグメントを構成する会社の決算期は3月決算であり、当第2四半期累計期間の対象月は4、5、6月を含むため、新型コロナウイルス感染症による影響で多くのイベント、シンポジウムの開催が延期、中止になりました。これに伴い通訳案件が相次いでキャンセルとなることで通訳部門の業績が落ち込みました。また、のれん及び無形固定資産の償却の影響もあり、セグメント損失は436百万円(同524百万円減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の変動状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2,795百万円(22.4%)増加し、15,266百万円となりました。これは、現金及び預金が4,332百万円増加し、受取手形及び売掛金が866百万円、仕掛品が624百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて327百万円(2.3%)増加し、14,307百万円となりました。これは、ソフトウェア仮勘定が374百万円、投資有価証券が341百万円増加し、のれんが104百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて3,123百万円(11.8%)増加し、29,573百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,739百万円(21.6%)減少し、6,295百万円となりました。これは、買掛金が728百万円、未払費用が583百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて141百万円(7.7%)減少し、1,690百万円となりました。これは、繰延税金負債が118百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,880百万円(19.1%)減少し、7,986百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて5,004百万円(30.2%)増加し、21,587百万円となりました。

当社は、2020年9月7日開催の取締役会決議に基づき、公募による自己株式1,700,000株の処分を行っており、資本剰余金が2,121百万円増加、自己株式が1,474百万円減少しました。

また、当社株式の売出し(オーバーアロットメントによる売出し)と同時に決議いたしました第三者割当による新株式216,500株の発行により、資本金が228百万円、資本剰余金が228百万円増加しました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ4,332百万円(59.7%)増加し、11,593百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は前年同四半期に比べ39百万円減少し、1,619百万円となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益1,614百万円、売上債権の減少額864百万円、たな卸資産の減少額622百万円であり、支出の主な内訳は、仕入債務の減少額730百万円、未払費用の減少額583百万円、法人税等の支払額535百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は前年同四半期に比べ123百万円減少し、605百万円となりました。

収入の主な内訳は、投資事業組合からの分配による収入18百万円であり、支出の主な内訳は、有形・無形固定資産の取得による支出543百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は3,322百万円となりました。

収入の主な内訳は、自己株式の処分による収入3,591百万円、株式の発行による収入457百万円であり、支出の主な内訳は、短期借入金の減少439百万円、配当金の支払額301百万円によるものであります。

当社は、2020年9月7日開催の取締役会決議に基づき、公募による自己株式1,700,000株の処分および当社株式の売出し(オーバーアロットメントによる売出し)と同時に決議いたしました第三者割当による新株式発行を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年7月7日発表の通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は景気動向に加え、新型コロナウイルス感染症の収束時期や影響範囲など様々な要因により大きく変動する可能性があり、業績に影響を及ぼす事象が生じた場合には速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,365,236	11,697,997
受取手形及び売掛金	3,616,837	2,750,567
商品	—	3,842
仕掛品	1,118,271	493,460
原材料及び貯蔵品	28,999	27,834
その他	345,261	294,665
貸倒引当金	△4,080	△2,119
流動資産合計	12,470,525	15,266,248
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,363,657	3,365,274
減価償却累計額	△2,569,200	△2,594,512
建物及び構築物(純額)	794,457	770,762
機械装置及び運搬具	1,496,837	1,517,140
減価償却累計額	△1,140,603	△1,186,794
機械装置及び運搬具(純額)	356,233	330,346
土地	3,154,695	3,154,695
その他	868,442	888,199
減価償却累計額	△691,923	△724,438
その他(純額)	176,519	163,760
有形固定資産合計	4,481,906	4,419,564
無形固定資産		
のれん	2,738,847	2,634,090
顧客関連資産	1,101,324	1,046,257
ソフトウェア	907,557	836,934
ソフトウェア仮勘定	571,586	946,387
その他	463,046	443,474
無形固定資産合計	5,782,362	5,907,144
投資その他の資産		
投資有価証券	2,330,598	2,672,228
退職給付に係る資産	107,748	116,250
繰延税金資産	222,127	153,204
その他	1,066,191	1,052,007
貸倒引当金	△11,317	△12,824
投資その他の資産合計	3,715,348	3,980,866
固定資産合計	13,979,617	14,307,575
資産合計	26,450,143	29,573,823

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,487,332	758,853
短期借入金	2,286,000	1,847,000
1年内返済予定の長期借入金	123,914	142,250
リース債務	4,998	4,958
未払法人税等	611,660	928,865
未払費用	1,702,057	1,118,082
賞与引当金	—	143,595
役員賞与引当金	40,400	19,754
その他	1,778,656	1,332,223
流動負債合計	8,035,020	6,295,582
固定負債		
長期借入金	387,560	403,282
リース債務	6,027	3,500
繰延税金負債	478,150	359,312
役員退職慰労引当金	75,704	77,468
退職給付に係る負債	883,484	845,953
その他	1,535	1,431
固定負債合計	1,832,463	1,690,947
負債合計	9,867,483	7,986,530
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,049,318	2,278,271
資本剰余金	2,010,533	4,368,621
利益剰余金	13,081,723	13,652,479
自己株式	△1,512,993	△39,052
株主資本合計	15,628,582	20,260,319
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	409,183	642,422
為替換算調整勘定	△5,214	△9,207
退職給付に係る調整累計額	50,493	124,442
その他の包括利益累計額合計	454,463	757,657
非支配株主持分	499,613	569,315
純資産合計	16,582,659	21,587,293
負債純資産合計	26,450,143	29,573,823



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2019年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年6月1日 至2020年11月30日)
売上高	10,554,524	12,801,305
売上原価	6,416,616	7,478,201
売上総利益	4,137,907	5,323,103
販売費及び一般管理費		
販売促進費	210,545	196,045
運賃及び荷造費	99,156	99,830
貸倒引当金繰入額	△387	566
役員報酬	121,865	123,687
給料及び手当	1,204,557	1,764,139
賞与引当金繰入額	48,650	76,711
役員賞与引当金繰入額	10,500	19,754
退職給付費用	115,938	151,130
役員退職慰労引当金繰入額	6,022	3,263
福利厚生費	261,041	358,933
修繕維持費	38,045	64,336
租税公課	80,974	77,583
減価償却費	35,597	132,208
のれん償却額	23,588	104,757
賃借料	79,483	148,075
その他	386,600	435,754
販売費及び一般管理費合計	2,722,177	3,756,776
営業利益	1,415,729	1,566,326
営業外収益		
受取利息	431	120
受取配当金	23,488	23,738
保険返戻金	5,492	12,136
投資事業組合運用益	—	7,364
助成金収入	855	52,935
その他	29,859	41,094
営業外収益合計	60,127	137,389
営業外費用		
支払利息	3,704	7,196
売上割引	5,648	5,995
株式交付費	—	3,654
為替差損	10,854	9,736
投資事業組合運用損	3,575	—
その他	691	14
営業外費用合計	24,474	26,597
経常利益	1,451,382	1,677,119

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)
特別利益		
投資有価証券売却益	—	4,669
特別利益合計	—	4,669
特別損失		
固定資産除却損	37	286
投資有価証券評価損	0	67,185
のれん減損損失	22,007	—
特別損失合計	22,045	67,472
税金等調整前四半期純利益	1,429,337	1,614,316
法人税、住民税及び事業税	497,652	839,265
法人税等調整額	△998	△193,410
法人税等合計	496,654	645,854
四半期純利益	932,682	968,462
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,119	95,523
親会社株主に帰属する四半期純利益	939,802	872,939

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益	932,682	968,462
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	88,041	233,238
為替換算調整勘定	△583	△4,375
退職給付に係る調整額	60,220	73,949
その他の包括利益合計	147,678	302,811
四半期包括利益	1,080,361	1,271,273
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,087,480	1,176,133
非支配株主に係る四半期包括利益	△7,119	95,140

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2019年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年6月1日 至2020年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,429,337	1,614,316
減価償却費	284,820	355,297
のれん償却額	23,588	104,757
のれん減損損失	22,007	—
引当金の増減額(△は減少)	31,987	124,259
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	59,673	66,584
受取利息及び受取配当金	△23,920	△23,858
支払利息	3,704	7,196
助成金収入	△855	△52,935
売上債権の増減額(△は増加)	1,509,911	864,018
たな卸資産の増減額(△は増加)	489,915	622,132
仕入債務の増減額(△は減少)	△855,000	△730,910
未払費用の増減額(△は減少)	△809,013	△583,818
投資有価証券評価損益(△は益)	0	67,185
投資事業組合運用損益(△は益)	3,575	△7,364
その他	△81,697	△345,189
小計	2,088,034	2,081,671
利息及び配当金の受取額	23,920	23,858
利息の支払額	△3,542	△7,020
助成金の受取額	855	52,935
法人税等の還付額	2,983	3,009
法人税等の支払額	△453,423	△535,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,658,827	1,619,453
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△391,459	△41,412
有形固定資産の売却による収入	3,400	—
無形固定資産の取得による支出	△285,316	△502,302
投資有価証券の取得による支出	△57,631	△42,443
投資有価証券の売却による収入	—	1,950
投資事業組合への出資による支出	△10,000	△40,000
投資事業組合からの分配による収入	11,731	18,631
その他	689	224
投資活動によるキャッシュ・フロー	△728,586	△605,352

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△9,000	△439,000
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△61,608	△65,942
リース債務の返済による支出	△1,318	△2,461
配当金の支払額	△278,602	△301,537
株式の発行による収入	—	457,906
自己株式の処分による収入	—	3,591,913
自己株式の取得による支出	△176	△230
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△17,700
その他	△85	△96
財務活動によるキャッシュ・フロー	△350,790	3,322,851
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,439	△4,192
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	577,010	4,332,760
現金及び現金同等物の期首残高	7,840,299	7,260,736
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,417,309	11,593,497

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)

当社は、2020年9月7日開催の取締役会決議に基づき、2020年9月23日を払込期日として、公募による自己株式1,700,000株の処分を行っており、資本剰余金が2,121,396千円増加、自己株式が1,474,172千円減少しました。

また、当社株式の売出し(オーバーアロットメントによる売出し)と同時に決議いたしました第三者割当による新株式発行に関し、2020年10月20日を払込期日として、割当先である野村証券株式会社から216,500株の第三者割当増資の払込みを受け、資本金が228,953千円、資本剰余金が228,953千円増加しました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が2,278,271千円、資本剰余金が4,368,621千円、自己株式が39,052千円となりました。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	ディスクロー ジャー 関連事業	通訳・翻訳 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,786,307	768,216	10,554,524	—	10,554,524
セグメント間の内部売上高 又は振替高	940	16,341	17,281	△17,281	—
計	9,787,247	784,558	10,571,806	△17,281	10,554,524
セグメント利益	1,327,763	88,399	1,416,163	△434	1,415,729

(注) 1. セグメント利益の調整額△434千円は、セグメント間取引の消去であります。

なお、当第2四半期連結累計期間においては持株会社体制移行前であり、持株会社に係る損益の算出が実務上困難なため「ディスクロージャー関連事業」に含めて開示しております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	ディスクロー ジャー 関連事業	通訳・翻訳 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,373,744	2,427,561	12,801,305	—	12,801,305
セグメント間の内部売上高 又は振替高	102	77,082	77,184	△77,184	—
計	10,373,846	2,504,643	12,878,490	△77,184	12,801,305
セグメント利益又は損失(△)	1,697,818	△436,115	1,261,702	304,624	1,566,326

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額304,624千円には、セグメント間取引の消去46,413千円、各報告セグメントに配分していない持株会社(連結財務諸表提出会社)に係る損益258,210千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 比較情報として開示した前第2四半期連結累計期間のセグメント情報につきましても、当第2四半期連結累計期間と同様の方法にて記載しております。

(企業結合等関係)

企業結合による暫定的な会計処理の確定

2020年3月31日に行われた株式会社サイマル・インターナショナルとの企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、第1四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において、取得原価の当初配分額の見直しが反映されております。

この結果、前連結会計年度末におけるのれんは110,561千円増加し、商標権は922千円、顧客関連資産は168,107千円、繰延税金負債は58,467千円それぞれ減少しております。なお、顧客関連資産の償却期間は10年としております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。